

財団からのお知らせ

新刊紹介

睡眠の起源

金谷 啓之（著）
新書判，2024.12，
講談社現代新書
本体900円＋税

脳を持たないヒドラも眠ることを明らかにした著者が、睡眠と意識の謎に迫る。ヒドラの眠りの研究を中心に、なぜ生物は眠るのか、睡眠研究の歴史から最新の研究まで紹介されている。著者のこれまでの経験なども紹介されていて、研究の楽しさとワクワク感も伝わってくる。読み物としても大変興味深く、おすすめの一冊である。
（関連記事：P4-5 「ヒドラから見える私たちの眠り」）



日本近海産ヒトデ類図鑑

木暮 陽一（著）
A5判，2025.07，
海文堂出版
本体3,400円＋税

日本近海から300種ほどが記録されているヒトデ類のうち、正確な解説が可能な169種が掲載されている。浜辺から深海までの種がカバーされている本邦初の本格的なヒトデ図鑑。生時の写真も多く掲載されていて、形態の特徴と分布が記されているため、同定に役立つ図鑑として、手元に置いておきたい一冊である。最新の分類体系が採用されているため、そちらも参考にされたい。多彩なコラムもあり、楽しく見ることができる図鑑である。



観察会報告

親子で楽しむ海の生き物「わくわくウォッチング」

5月31日（土）に神奈川県横須賀市にある観音崎自然博物館で行いました。この日は雨の中での開催となりましたが、無事に磯での観察も実施することができました。雨予報だったにも関わらず、38名（大人22名、中学生以下16名）に参加いただきました。

例年同様、博物館の皆さまに実施いただき、午前中は海藻（ユカリ）の標本作り、午後は雨具を着て、磯にて生き物の観察を行いました。磯での観察にあたっての説明では、まずは海岸をしっかりと見て、海の様子やそこにいる生き物の様子をしっかりと見てくださいとお話をいただいたので、参加者の皆さんも、岩の表面や手で石をひっくり返して裏に付着している動物などをじっくりと観察し、新しい発見を楽しんでいました。

途中には晴れ間もあり、1時間半ほど磯で観察を行いました。最後に採集した生き物をケースに入れて、カニやウミウシ、ヒトデやマンジュウボヤなどを観察しました。

雨天での実施でしたが、充実した観察会となりました。参加者の皆さま、実施いただいた観音崎自然博物館の皆さまにお礼申し上げます。



海藻の標本作り（水の中で海藻を広げています）



磯での観察の様子



採集した生き物の観察